

学校教育目標 ～目指す学校像～	希望と愛をはぐくむ、美と活力の学校 ～ 常に「思考」を大切にして、「創造」と「進化」を続ける魅力ある学校 ～
重点目標	1 学力の向上 ～ 基礎学力・読解力の向上に向けて 2 生徒指導と教育相談の充実 ～ すべての活動の基盤となる生活面の安定に向けて 3 花笑み教育とコミュニティスクールの活性化 ～ スクールコミュニティの構築に向けて 4 教育環境の整備 ～ 学校事故の防止と安心・安全の確保に向けて 5 教職員の働き方改革と研修の充実 ～ 教職員の資質の向上に向けて

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標							実施日令和8年2月24日	
番号	現状（●）と課題（◎）	評価項目	具体的方策（☆）	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題（◎）と改善策（☆）	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	● 現 状 校区生徒は国語力・読解力の向上と、特に算数・数学で小学校から中学校1年生までの基礎学力養成が急務である G・Sの取り組みは質が高く成績に反映させたい 家庭学習の習慣化は成績向上のカギでもある ◎ 課 題 「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び」を達成するために「単元内個別進度学習」を軸に研究を深め、正しい展開を図ること 小・中連携も含む国語科授業と NIE で、単語の精査、語彙力アップ、文章の要約等により読み取り、思考、説明等の外化を行えるようにすること 基礎・基本の徹底と学び方の習得を目指した、学校・家庭連携の下での学習習慣化を図ること	学習指導の基盤づくり	【安心して学習できる環境の整備】 ☆ 「話し合い活動」の実践 ～「相互評価」のあり方を含む ～ コミュニケーション力アップを含む	①「協働的な学び」として位置付けた話し合い活動を、学級活動の時間に3本以上実施したか ②教科で「話し合い活動」を導入し指導計画に位置付けたか ○ 話し合い活動の取り組みについてクラス・学年で相互に検証する				
		学習指導の充実	【「習得」の徹底による「読解力及び基礎学力」の向上】 ☆ チャンスタイムとやり直しテスト学習意欲の向上 ☆ 「個別最適な学び」を具現化する「単元内個別進度学習」の実践 ☆ 「読書」時間の確保と NIE の活用 ☆ 家庭学習の奨励と内容の強化・充実	①「チャンスタイム」を設定し結果の検証と改善ができたか ②やり直しテストを実施し結果の検証と改善ができたか ③テストにあたって生徒の意欲の向上が図れたか ④単元内個別進度学習」を指導計画に位置づけられたか ⑤家庭学習定着に向け取り組みを進めたか ○ 学習面の学校評価＝生徒 80%、保護者 80%、教職員 80% の肯定的回答				
2	● 現 状 生徒数186名、明るく活動的な生徒が多く学校に来て教室で学習しづらい生徒、学校に足が向かない生徒等は学級に存在、要指導の問題行動も散見される等、全国と同様の問題を抱える学校 学区は中央区とほぼ同じ広さ、旧2村から構成され、校区小学校は2校それぞれ単学級である 地域は継続的に見守り活動が行っている ◎ 課 題 学級・学校の集団の規模が小さくとも、将来の日本を支える人材として「必要な資質は他の地域と変わらない」という意識を醸成すること 「城南カフェ」において個々の生徒への対応として多様な学習スタイルを模索・具現化すること	生徒指導の充実	【安心・安全の基盤～生活面の指導】 ☆ 生徒指導部会の組織的活動 ☆ 事故未然防止の取り組み強化 ☆ 週越え案件の絶無 ☆ 「校則検討委員会」の実施 ☆ いじめ問題への積極的取り組み	①生徒指導委員会が長期的展望に立って組織的な対応をしたか ②学級経営状況を毎学年会で検証できたか ③週越え案件つくらず対応できたか ○ 生活面学校評価＝生徒 80%、保護者 80%、教職員 80% の肯定的回答				
		教育相談の充実	【全ての子どもを取り残さない指導】 ☆ 「教育相談部会」の充実 ～迅速な情報共有、記録の保管～ ☆ 関係機関との連携強化 ☆ ケース会議の積極的な開催 ☆ 学級経営に関わる学期ごとの検証	①教育相談部会が長期的展望に立って組織的活動をしたか ②学級の要相談案件に適切なスピード感をもって対応したか ③継続的の案件を確実に申し送りしたか ○ 生活面学校評価＝生徒 80%、保護者 80%、教職員 80% の肯定的回答				
3	● 現 状 「花笑み教育」2年目となる。継続的に人事配置が行われ、PTAや自治会、青少年育成市民会議等の協力を得ながらの展開に希望がある ホームページ活用は更新が追いついていない 花笑みだより」は三校が回り持ちで発行しているが地域への浸透は今一つのようなのである ◎ 課 題 「花笑み教育」の地域住民・保護者のニーズを踏まえた具体的な内容を検討すること、併せて持続可能なものに仕上げること 学校運営協議会に生徒も参加させ、理想の学校像や地域との関わり方を熟議で取り上げること ホームページの積極的活用を図ること	花笑み教育に関わる開かれた学校づくり	【花笑み教育の継続と充実】 ☆ 三校連携行事の協力・交流体制強化 ☆ 小学校との学習連携の強化 ☆ 義務教育としての学習連携の強化 ☆ 児童・生徒の情報共有の強化	①ボランティア活動の組織的展開を図れたか ②引き渡し訓練や合同研修・行事を行えたか ③小・中連携教員の活動集約を行ったか ④美園北小と関わりを深め本校への進学者を増やせたか ○ 「花笑み教育」のアンケートを創設し保護者 80%、地域 60%の肯定的回答				
		コミュニティスクールの活性化	【保護者・地域への情報発信】 ☆ 学校運営協議会のあり方の検討 ☆ 三校のPTAとの連携強化 ☆ 地域への給食試食会の実施 ☆ 民生委員連絡会との連携強化 ☆ ボランティア機会の増加 ☆ 地域人材の活用	①給食試食会を実施したか ②授業参観の機会を増やしたか ③学校運営協議会に生徒が参加し話し合いを深めたか ④三校校長会を定例開催したか ⑤HP に工夫を加え見やすさを向上させたか ○ 「花笑み教育」のアンケートや「学校理解」のアンケート調査で保護者の80%、地域 60%の肯定的回答				
4	● 現 状 施設・設備の安全点検を行い、不良箇所の発見と迅速な修繕にあっている 体罰・暴言・不適切な指導は間接的な指摘があった時点で本校全教職員への注意喚起と個々の教員からの聞き取りと指導を行った SNSに関わる安全教室を1回開催 ◎ 課 題 教職員の安全に対する意識・緊張感を常に持たせ、学校事故の根絶を図ること 生徒のSNS利用についての安全意識を高め、生じた事案には迅速丁寧に対応すること	安全に関する教職員の意識向上と実践	【教職員事故の防止】 ☆ 個人情報管理の徹底徹底 ☆ 諸会計事務・監査システムの厳正化 ☆ 余裕ある行動による交通事故防止 ☆ 非違行為への注意意識の向上	①個人情報管理の定例チェックと紙媒体の格納点検を励行したか ②会計監査を実施したか ③職員会議で体罰・暴言等の事故防止研修を実施したか ④日常的に信用失墜行為の根絶と事故防止のための徹底が図れていたか				
		生徒を取り巻く環境の安心・安全の確保	【生徒事故の未然防止と確実な対応】 ☆ 安全点検の定期的実施 ☆ 管理訪問型の点検を定例化する ☆ 教職員研修と現場での活用 ☆ 学級・学年・学校によるいじめ防止	①月に1回の安全点検と学期に1回の管理訪問型の点検を行えたか ②SNS安全教室を工夫して実施したか ③突発的問題発生時に直に対応できたか ④多文化共生を意識した「いじめ防止」が学校を挙げて周知・徹底できたか				
5	● 現 状 一部教科は他校兼務の教職員、多くは2名配置であり、教職経験年数が浅い教員が多い 変化の大きい時代に適応できる「探究的な学び」を可能にする教員が求められている 教職員の在校時間は他校に比べて短い ◎ 課 題 「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び」の研究の継続的取り組みと、さいたま市DXやSSSPとの整合を図ること	研究計画と自己のキャリアアップ計画に沿った資質向上の取り組み	【教師力アップ】 ☆ 上記の諸活動の実践 ☆ 教師力アップとして特別活動、生徒指導、教育相談の知見を深める研修 ☆ キャリア段階に応じたて新しい指導訪問等を活かした授業力アップ ☆ 次期指導要領と「探究的学び」を意識した授業研究 ☆ 小学校教育の理解に関わる研修	①各学級で「話し合い活動」の研究を深め、特別活動の知見を高めたか ②学校課題研究「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」に関わる「新たな授業スタイル」を組織的・計画的に実行したか ③教育課程説明会、市教研を活かしたスキルアップが行えたか ④小・中連携を意識した自己研修が行えたか ⑤新指導要領について学び将来に備えたか				